

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームのぞみ

作成日 令和 4年 4月 20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍の為、地域の行事や活動がなく利用者も職員も地域とのつながりを持つことが出来ていない。	①利用者様が地域とのつながりを持ちながらここでの暮らしを続けたい。 ②利用者様だけではなく職員も地域との繋がりを大切にしたい。	①地域の行事や活動に職員とともに積極的に参加していく。 ②職員も利用者様と共に参加する中で地域との関わりを強めていく。	1年
2	3	事業所の力をまだまだ地域で生かすことができていない。	①地域の方々に事業所を知っていただきたい。 ②認知症や高齢者のことで問題や課題が起きたときの地域の相談機関として機能したい。	①地域の行事や活動等に積極的参加し関わりを作り事業所の事を伝えていく。 ②認知症の知識やケア及び対応について地域の方に伝える場を作る。	1年
3	6	理念を通して身体拘束にあたる事は行っていないが普段のケアの中でスピーチロック(言葉の拘束)にあたるような声かけ、言葉使いが生じる可能性がある。	①身体拘束適正化委員会を毎月開催する。 ②職員全員が声かけ、言葉使いに十分に配慮し利用者がストレスなく安心して過ごせる環境を提供していきたい。	①委員会の中で毎回利用者様に対する言葉使い、声かけに関して確認、話し合いを行う。 ②業務中も声かけや言葉使いに対しては職員同士で注意し合えるようにする。	1年
4	10	コロナ禍の為、家族の面会の制限や介護相談員の訪問の制限をしている。そのため家族様や外部の意見を反映しにくくなっている。	家族様の意向や要望を反映した施設運営やケアを行っていききたい。	家族様が来所された際に一方的に様子を伝えるだけではなくここでどのようなケアを受けて過ごして欲しいか等の意見も直接いただくようにする。	1年
5	49	コロナ禍の為、外出や買い物等も中止している。刺激や外に出る楽しみがなく利用者の方々もストレスがたまっている。	①利用者様の生活に刺激や変化を与えたい。 ②利用者様が日課や楽しみを持ち季節を感じながら過ごしてほしい。	①外出等に関しては感染状況を見ながら無理なく安全に企画実施していく。 ②施設近くの散策を随時行い、施設内の庭にある畑を整備して利用者と共に野菜等を育てる。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。